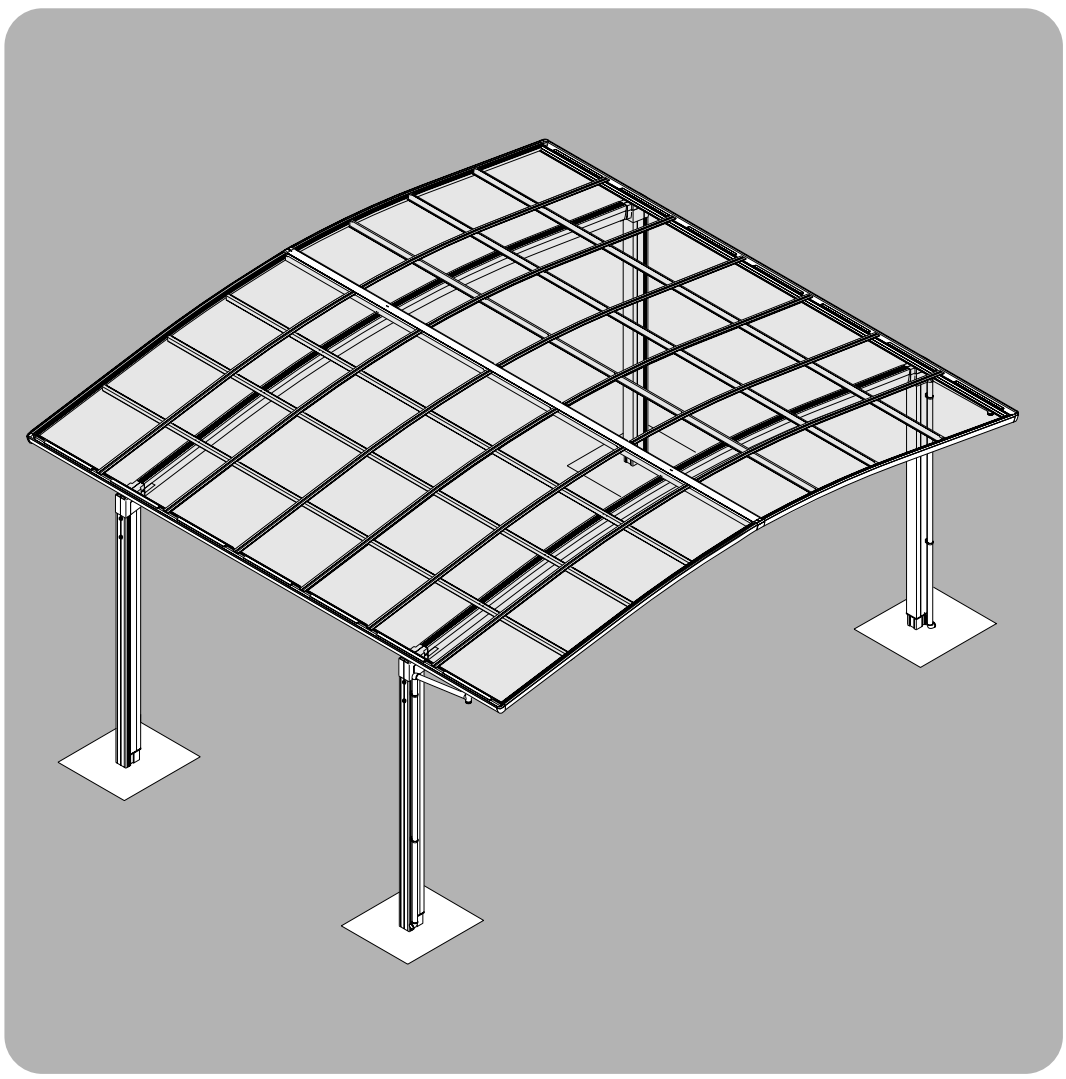
工事店さま用

カーブポートシグマⅡ 木目調 ワイド

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。
ご留意いただき、施工してください。

目次

■取付けされる方へのお願い……P1・2
■構造説明図……P3
■取付け順序……P4～11
●基本タイプ……P4～8
1.基礎の施工……P4
2.柱とはりの取付け……P4
3.ワイド棟木・母屋・後枠の取付け……P5
4.側枠・アーチの取付け……P6
5.屋根パネルの取付け……P6
6.アーチカバー・側枠カバーの取付け……P7
7.縦どいセットの取付け……P8
●縦連棟の取付け……P9～11
1.基礎の施工……P9
2.本体の組立て……P10・11
■納まり図……P11～13
■梱包明細書……P14・15

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。
※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

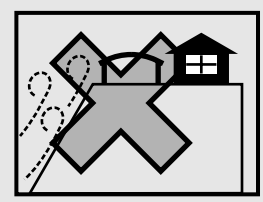
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件
・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
・カーブポートシグマⅡ木目調ワイド（一般地域用900タイプ）は積雪（新雪）30cm以下の地域用です。
・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。



●部材の固定
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

●基礎
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
・地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

●施工
・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

⚠ 注　意

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シーリング処理
・指定の個所にコーキング材を充てんしてください。
※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●絶縁処理
・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■取付け上のお願い

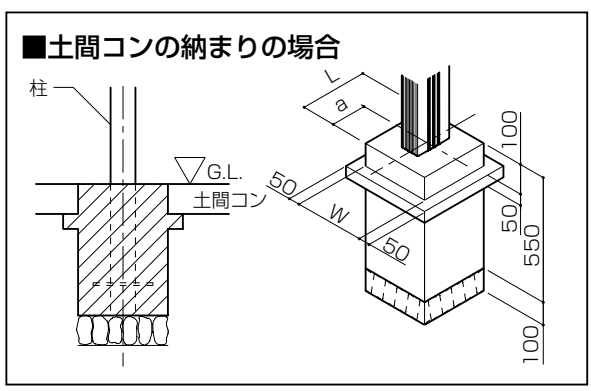
●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。施工に支障が出るおそれがあります。
●屋根の上に物をのせないでください。
●取付けは、専門業者の方が行ってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。

構造説明図

■構造説明図

※（　）内寸法は60サイズの場合を示します。

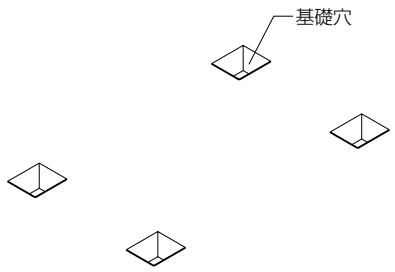
ワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）φ4×10
ロットNo.表示位置
5 屋根パネル
ワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）φ4×10
ナベテクスねじφ4×13
ナベテクスねじφ4×13
6 アーチカバー
2 ブラケット
4 アーチ
ロットNo.表示位置
2 ブラケットカバー
皿タッピンねじ（3種）φ4×20
六角ボルト（Wセムス）M8×25
2 柱化粧材2
2 柱
ナベテクスねじφ4×25
1 基礎
2 はり
皿タッピンねじ（2種）φ5×60
パネル押え
2 ブラケットカバー化粧材
2 柱化粧材1
2 柱化粧材キャップ
4 側枠（左右勝手あり）
ワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）φ4×10
6 ワイド棟木キャップ
3 ワイド棟木
ロットNo.表示位置
3 ワイド棟木取付け金具
ワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）φ4×10
3 後枠
6 側枠カバー
3 母屋
トラスタッピンねじ（3種）φ5×14
4 後枠コーナーキャップ
ロットNo.表示位置
600（700）
350（400）
700（800）
550
100
水抜き穴（φ6）現場加工
ぐり石
アンカー棒



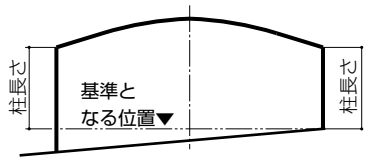
取付け順序

■取付け順序（基本タイプ）

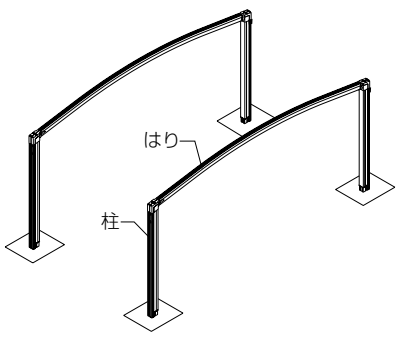
1 基礎の施工



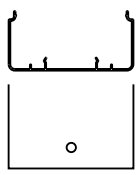
■柱長さについて



2 柱とはりの取付け



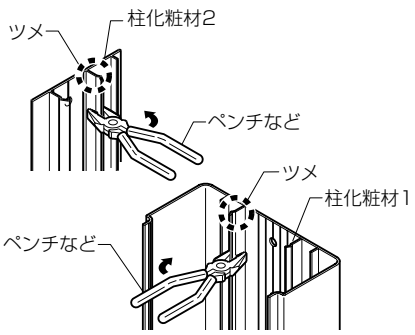
●柱化粧材1



下側

（図1）

※柱化粧材取付け後、ガタツキの有無を確認してください。
※柱化粧材1、2の取付けが緩い場合は、ペンチなどでツメを広げて取付けてください。



■取付け詳細（基本タイプ）

1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

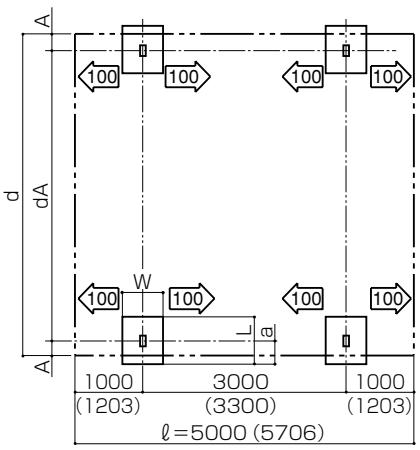
■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
※（　）内寸法は57サイズの場合を示します。
※2点鎖線は屋根投影サイズを示します。
※100は柱移動範囲を示します。

■墨出し位置

単位mm

サイズ呼称	d（屋根寸法）	dA（柱芯々寸法）	A
48	4837	4702	67.5
51	5140	5006	67.0
54	5443	5309	67.0
60	6061	5924	68.5



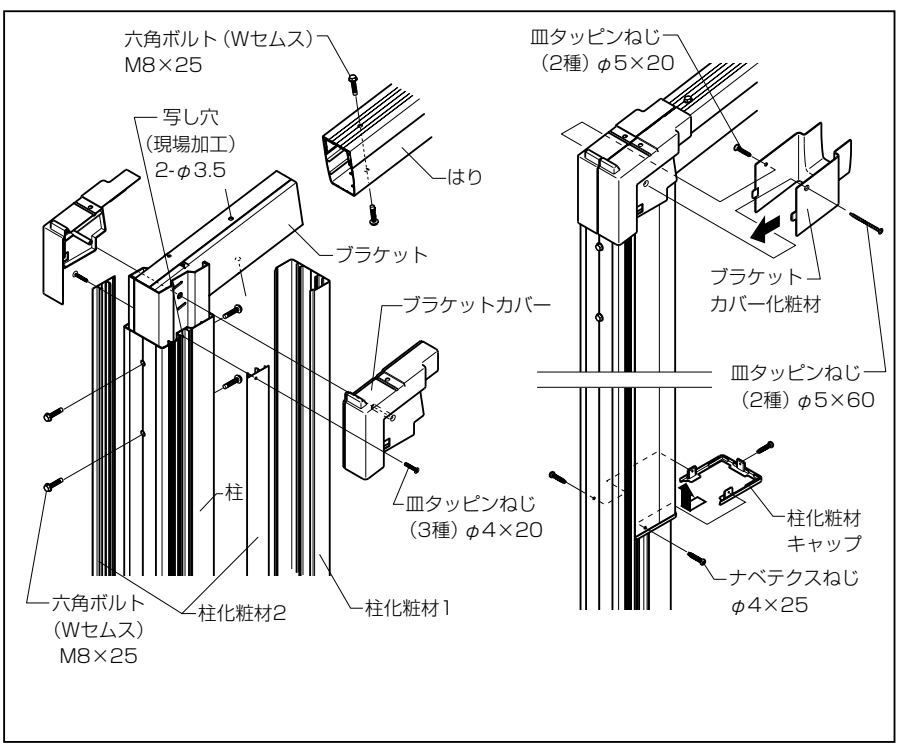
■基礎寸法

単位mm

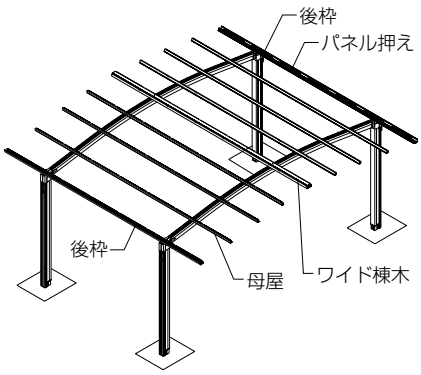
サイズ呼称	土間コンなし			土間コンあり		
	W	L	a	W	L	a
48	600	700	350	300	400	200
51	600	700	350	300	400	200
54	600	700	350	300	400	200
60	700	800	400	300	500	250

2 柱とはりの取付け

①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。
②柱化粧材1、2を柱に取付けます。
※柱と柱化粧材1、2の上端を合わせて取付けてください。
※柱化粧材1は加工穴がある方が下側になります。（図1）
③はりをブラケットに取付けます。
④ブラケットカバーを取付け、ブラケットカバー化粧材をはめ込んでねじ止めしてください。
※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。
⑤柱化粧材キャップを取付けます。
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に縦どいセットを取付けると、表示が見えなくなります。縦どいセットの取付けない側に表示ラベルを向けてください。

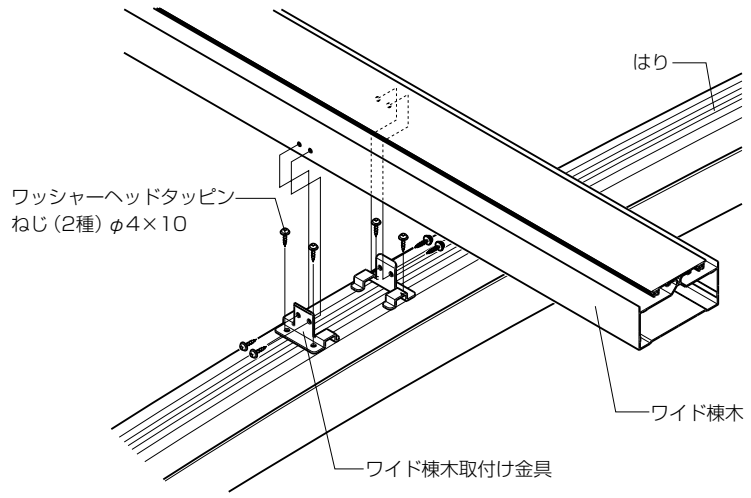


3 ワイド棟木・母屋・後枠の取付け



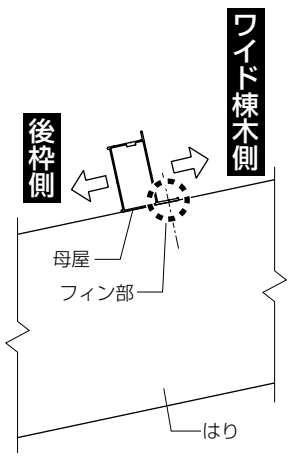
3 ワイド棟木・母屋・後枠の取付け

①後枠をブラケットに取付けます。
②はりの中央部にワイド棟木取付け金具を取付け、ワイド棟木を固定します。

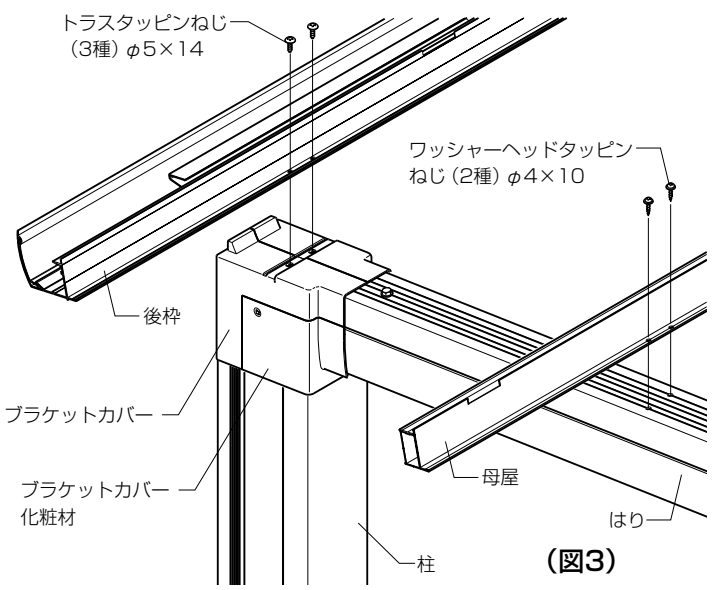


③ワイド棟木側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。（図2、図3）
※柱を移動した場合は、ワイド棟木・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、ワイド棟木はφ3.5、母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。

※ワイド棟木側に必ずフィン部を向けてください。

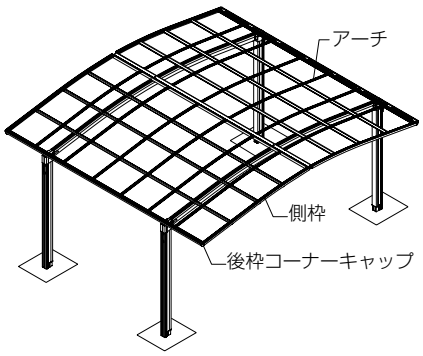


（図2）



（図3）

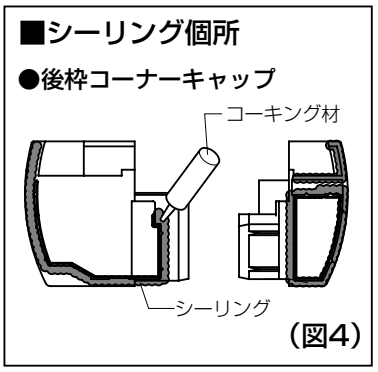
4 側枠・アーチの取付け



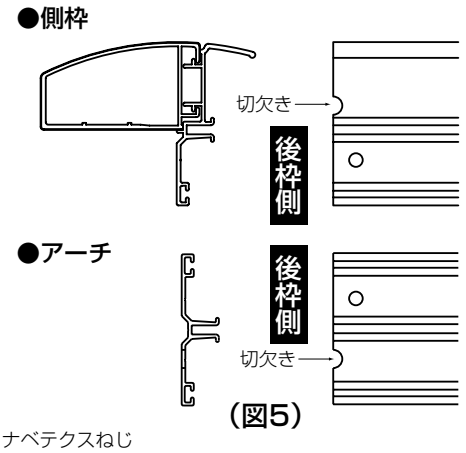
4 側枠・アーチの取付け

①後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし（図4）、側枠に取付けます。
※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後側枠にしてください。（図5）
②後枠・母屋・ワイド棟木に側枠を取付けます。
③アーチの前後を確認し（図5）、取付けます。（図6）
④屋根枠周りの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをします。

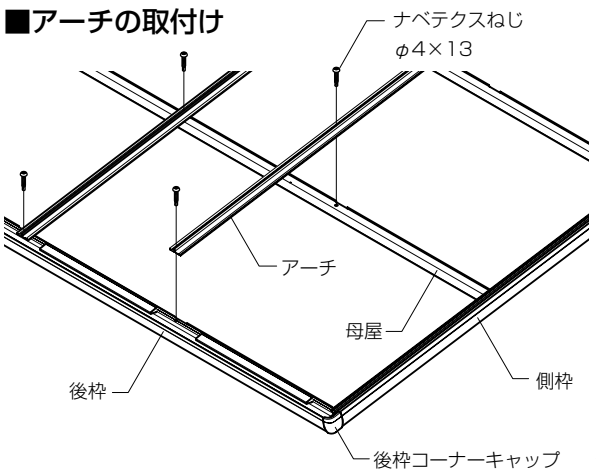
お願い
※前・後枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ナベテクスねじφ4×13で止めてください。



（図4）

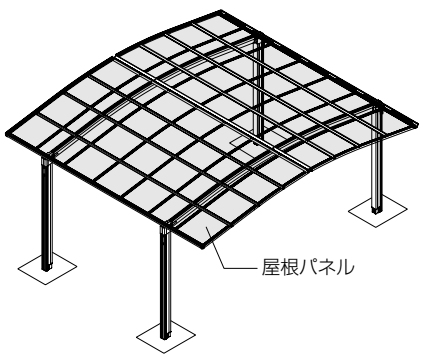


（図5）



（図6）

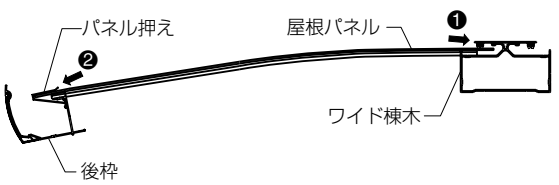
5 屋根パネルの取付け



5 屋根パネルの取付け

●屋根パネルをワイド棟木に差込み、パネル押えに差込んでください。（図7）
※屋根パネルは後枠側に突当ててください。（図8）
※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等（16.5mm）にしてください。

（図7）

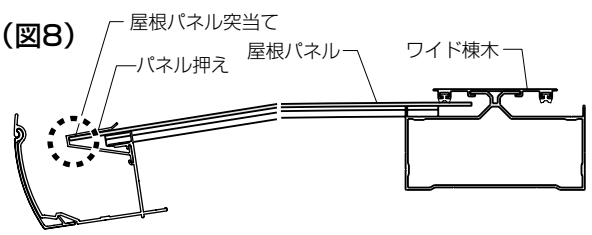


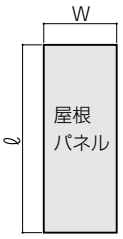
■屋根パネル寸法表

単位mm

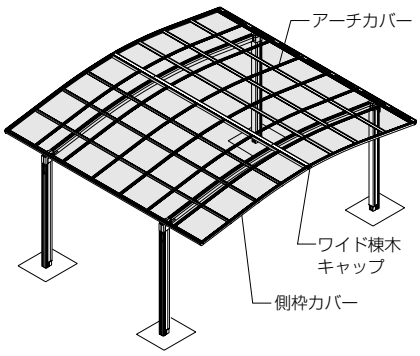
サイズ呼称	ℓ	W
48	2388	689
51	2541	
54	2694	
60	3018	

（図8）



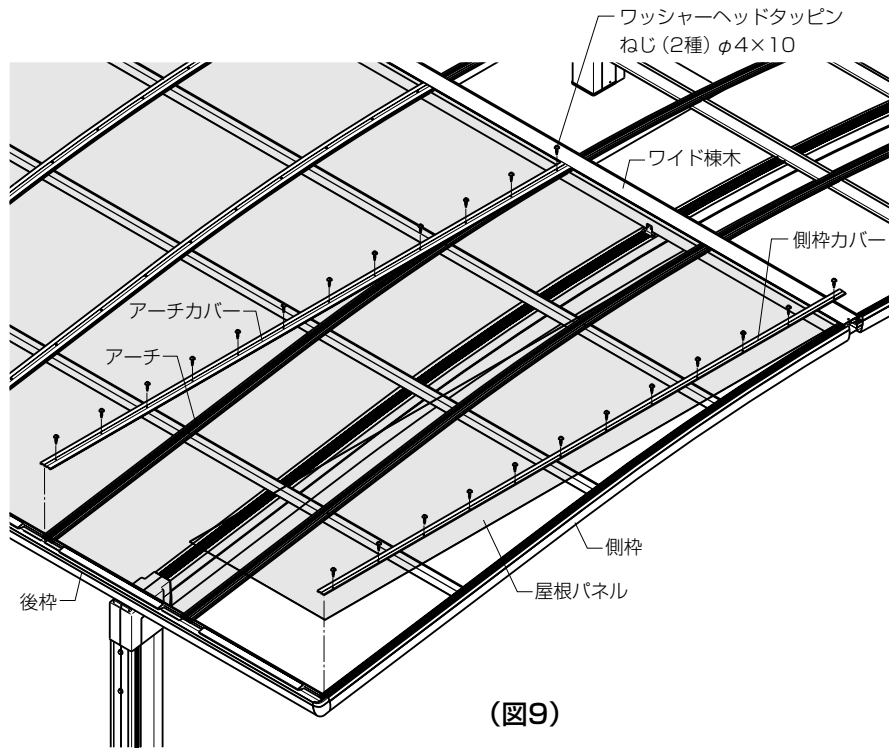


6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

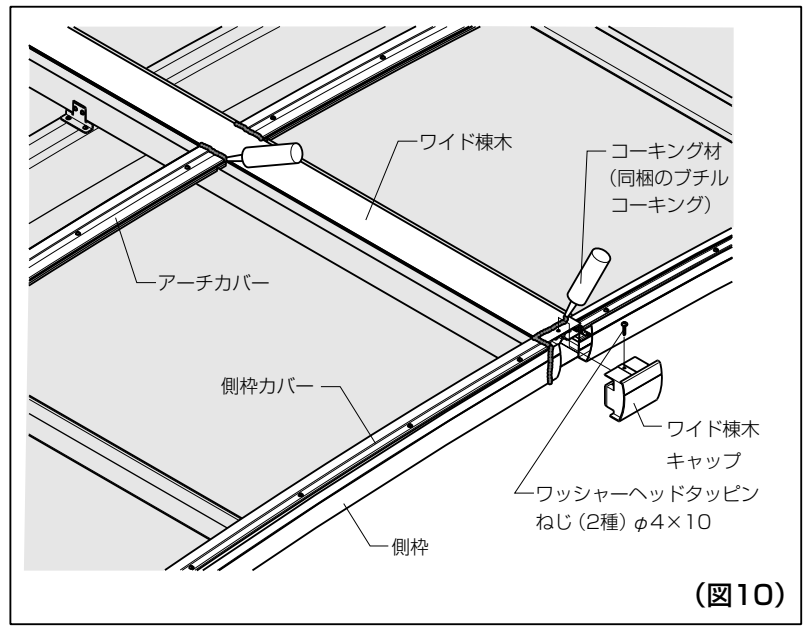


6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

①アーチカバー・側枠カバーをワイド棟木に突当てます。
②ワイド棟木側からアーチにねじ止めします。（図9）
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
③アーチカバーとワイド棟木との間に、コーキング材を充てんします。
④ワイド棟木キャップをワイド棟木にねじ止めします。
※側枠カバー、アーチカバー、ワイド棟木、ワイド棟木キャップとの間にコーキング材を充てんしてください。（図10）

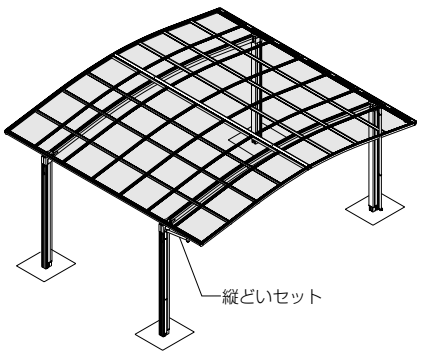


（図9）



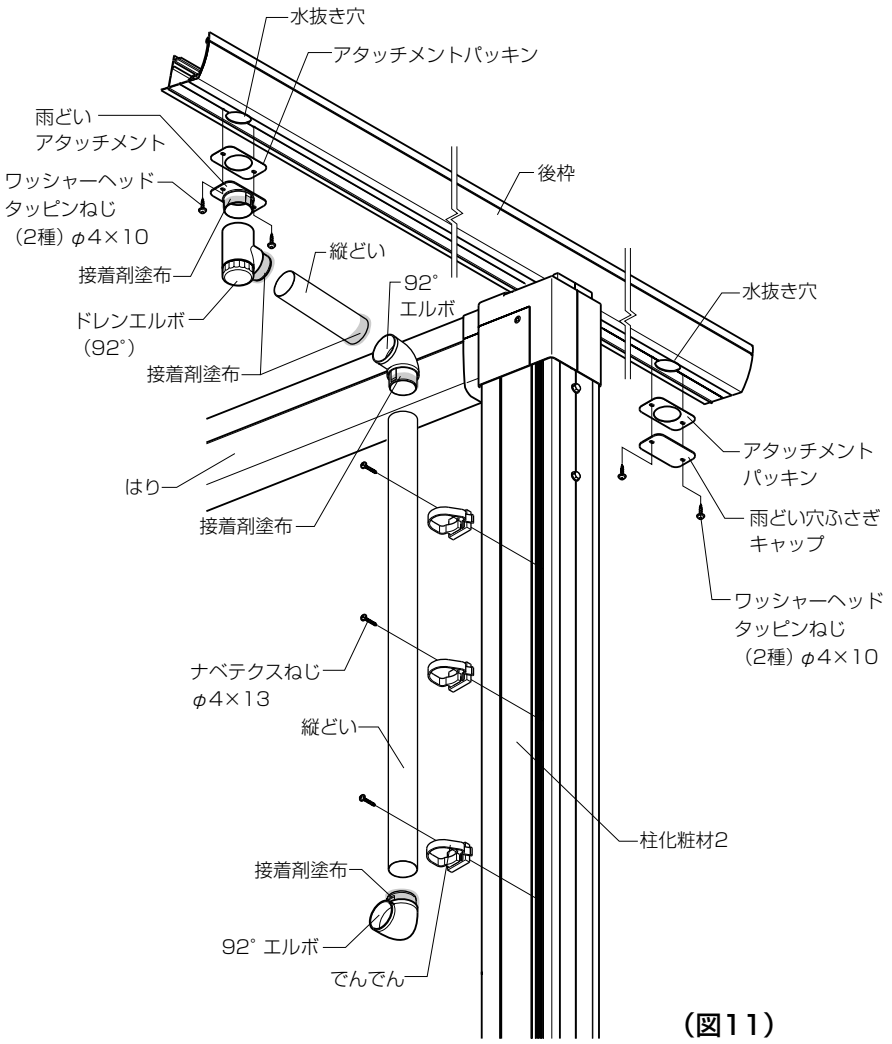
（図10）

7 縦どいセットの取付け



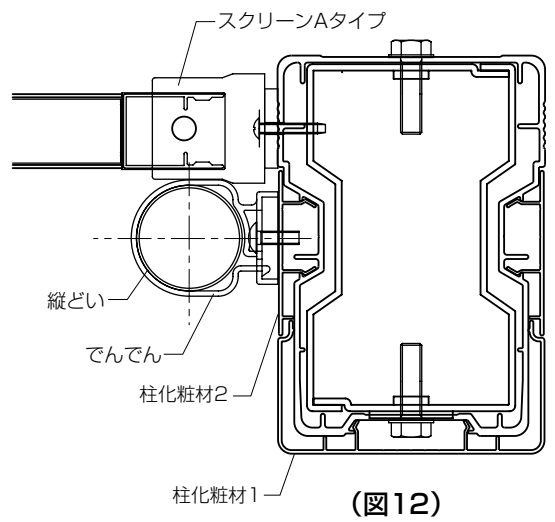
7 縦どいセットの取付け

①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。（図11）
②もう一方の穴に雨どいアタッチメント（穴ふさぎ）を取付けます。
※でんでんは柱化粧材2にかからないように柱本体に取付けてください。
※スクリーンAタイプ（縦使い）を取付ける場合は、柱の中央に取付けてください。（図12）



（図11）

■スクリーンAタイプ取付け時の納まり



（図12）

■縦連棟の取付け

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。
※基礎構造については基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
※（　）内寸法は57サイズの場合を示す。
※2点鎖線は屋根投影サイズを示します。
※100は柱移動範囲を示します。

■墨出し位置

単位mm

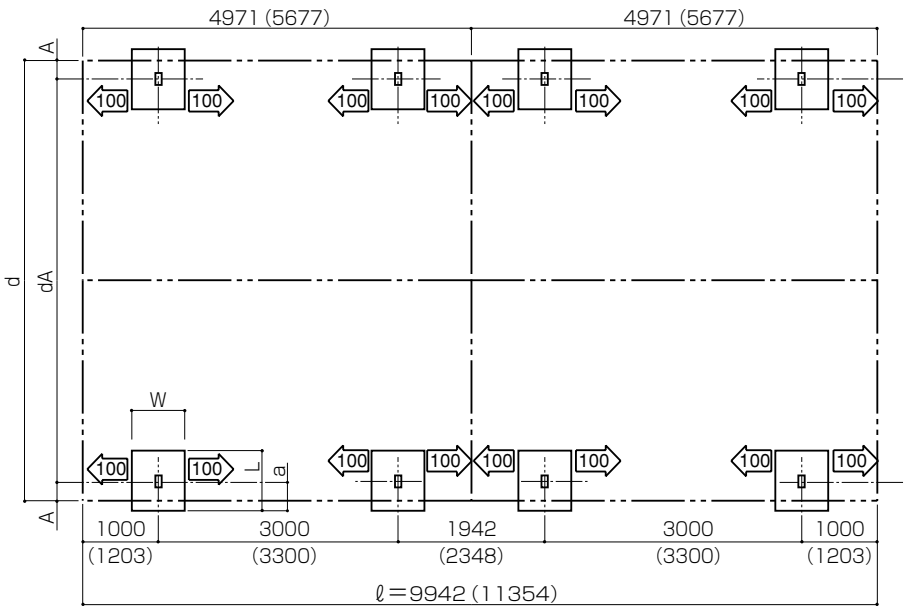
サイズ呼称	d（屋根寸法）	dA（柱芯々寸法）	A
48	4837	4702	67.5
51	5140	5006	67.0
54	5443	5309	67.0
60	6061	5924	68.5

■基礎寸法

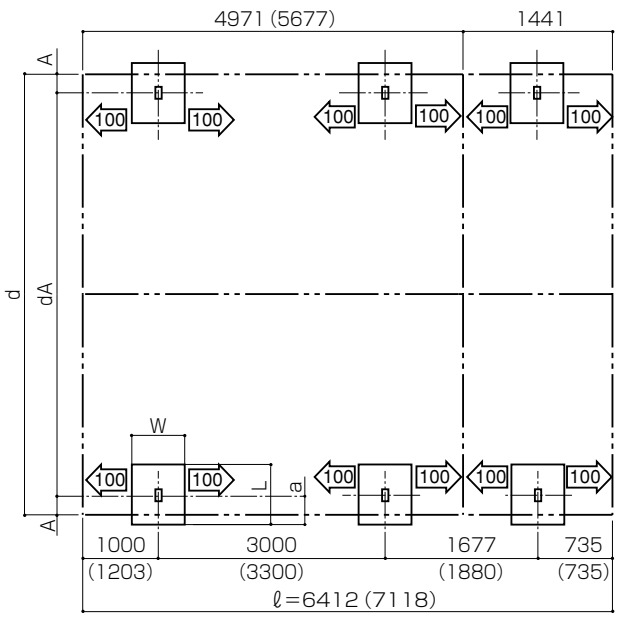
単位mm

サイズ呼称	土間コンなし			土間コンあり		
	W	L	a	W	L	a
48	600	700	350	300	400	200
51	600	700	350	300	400	200
54	600	700	350	300	400	200
60	700	800	400	300	500	250

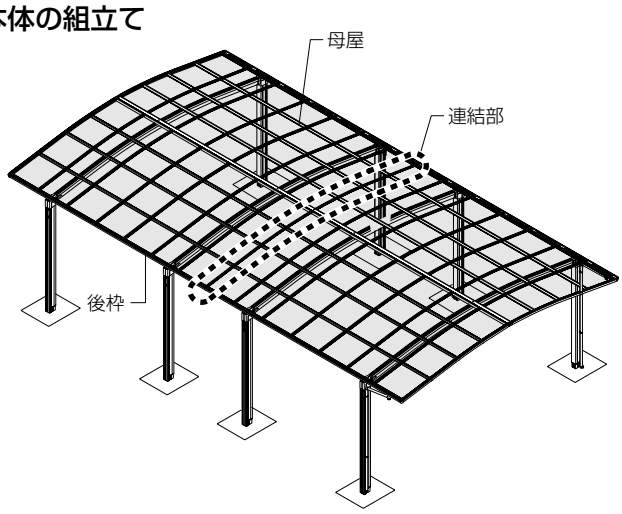
【連棟の場合】



【延長の場合】



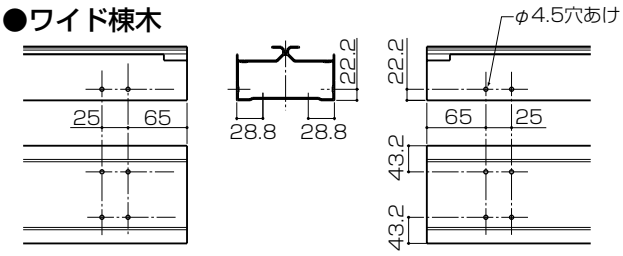
2 本体の組立て



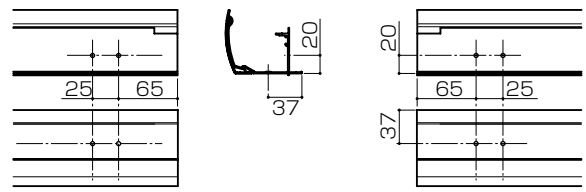
①組立て前に、ワイド棟木・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図13)
②連棟部分を組立てます。(図14)
※連棟部分にコーキング材を充てんし(図15)、連棟スリーブ、ワイド棟木、母屋 ・後枠をそれぞれ接続します。
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

■ワイド棟木・母屋・後枠加工図(図13)

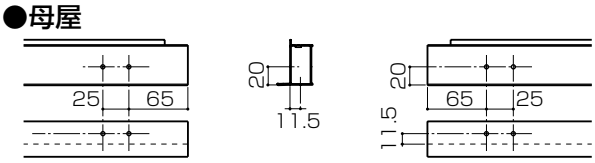
●ワイド棟木

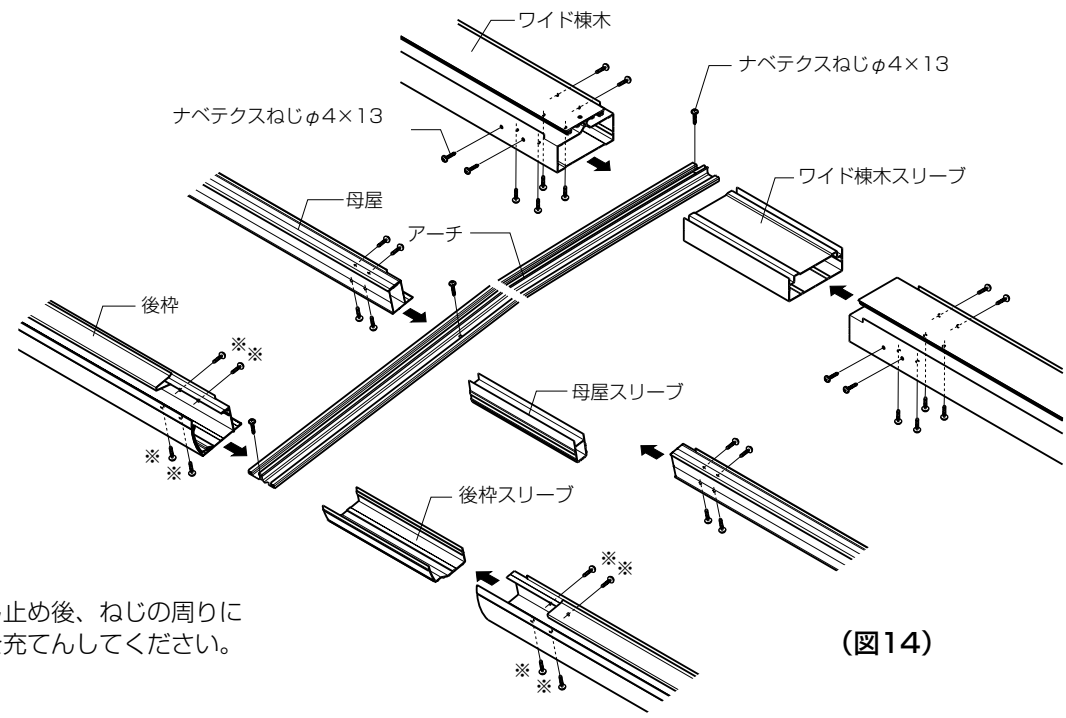


●後枠



●母屋



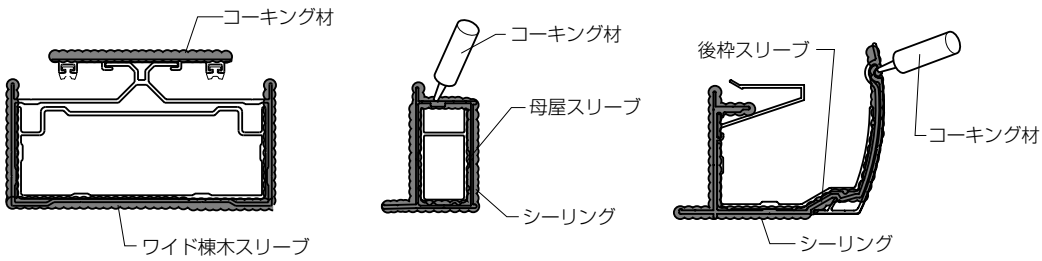


※印のねじはねじ止め後、ねじの周りにコーキング材を充てんしてください。

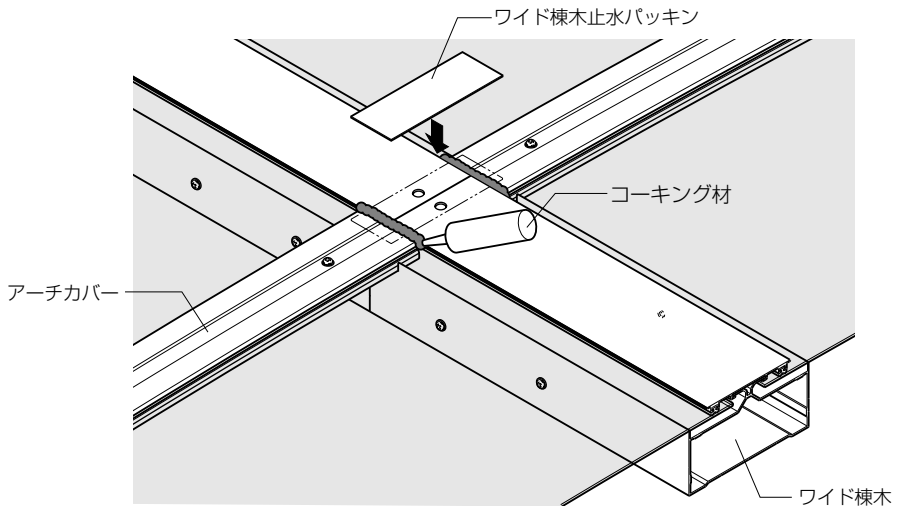
(図14)

■シーリング個所(図15)

●ワイド棟木　●母屋　●後枠



③ワイド棟木の接続部分にワイド棟木止水パッキンを張付けます。（図16）
※アーチカバーとワイド棟木の間に、コーキング材を充てんしてください。

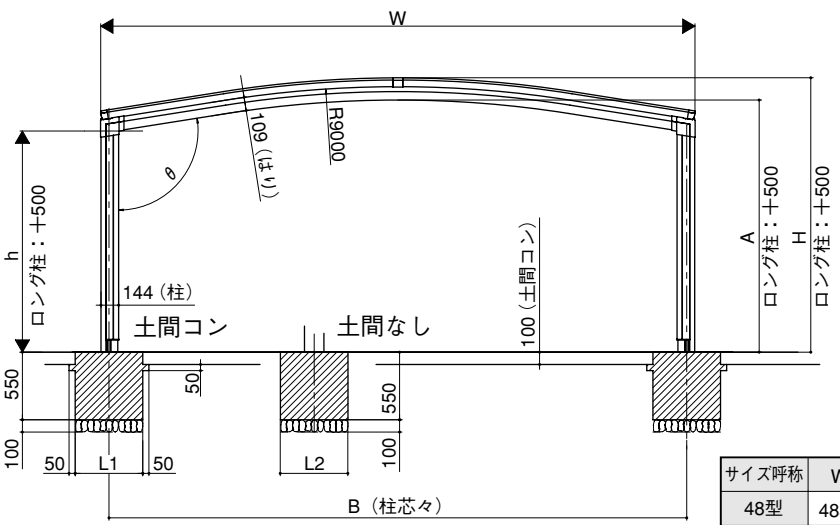


（図16）

納まり図

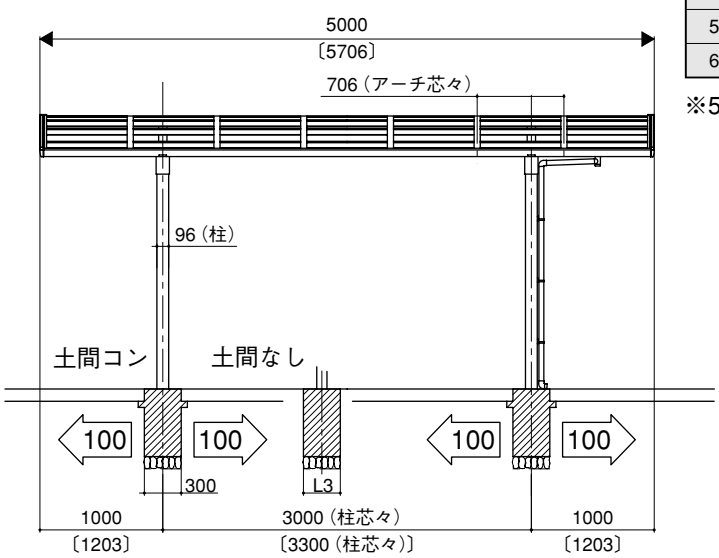
■納まり図

●基本タイプ

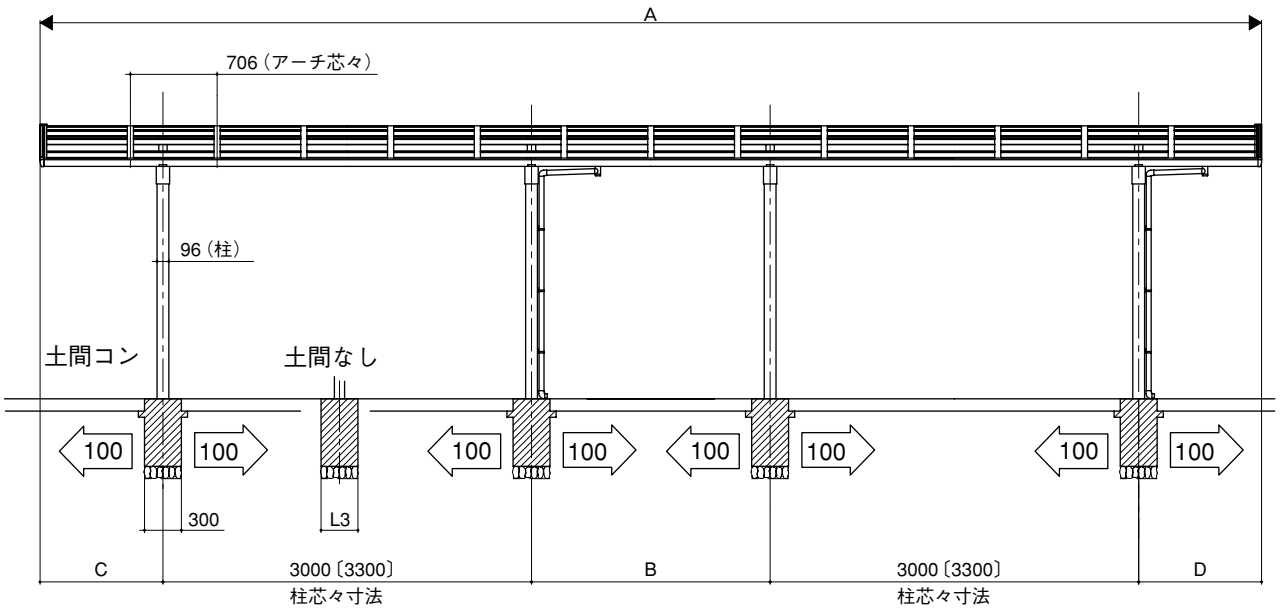


サイズ呼称	W	H	h	A	B	L1	L2	L3	θ
48型	4837	2232	1800	2051	4702	400	700	600	99°
51型	5140	2256	1800	2075	5006	400	700	600	99°
54型	5443	2280	1800	2099	5309	400	700	600	99°
60型	6061	2395	1804	2214	5924	500	800	700	102°

※57サイズは〔　〕に示します。



●縦連棟

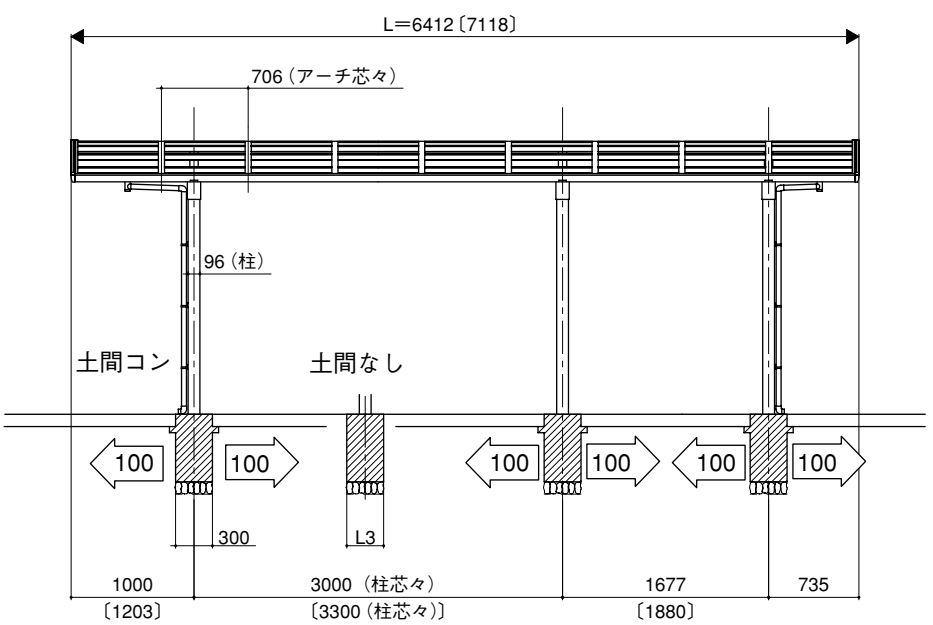


サイズ呼称	A	B	C	D
50型・50型	9942	1942	1000	1000
50型・57型	10648	2145	1000	1203
57型・57型	11354	2348	1203	1203

サイズ呼称	L3
24型	600
25型	600
27型	600
30型	700

※ 57サイズは〔　〕に示します。
※ B寸法は連棟部

●延長

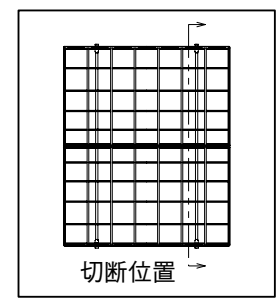


サイズ呼称	L3
24型	600
25型	600
27型	600
30型	700

※ 57サイズは〔　〕に示します。

●縦断面図

6061 [4837] [[5140]] [[[5443]]]
柱芯：5924 [4702] [[5006]] [[[5309]]]
アーチカバー：2989 [2357] [[2510]] [[[2664]]]
屋根パネル：3018 [2388] [[2541]] [[[2694]]]
アーチ：2978.2 [2347.1] [[2500.4]] [[[2653.8]]]
ワイド棟木カバー
ワイド棟木
107.6
39.6
19.6
6.9
8.1
59.3
ワイド棟木取付け金具
アーチカバー：4.2
2.3
パネル：2
母屋
11.5
2.3
アーチ：4
44
23.5
7.5
37.5
70
14
37.2
22
17
8
7.5
パネル押え
後枠：70
ブラケット：100
はり：108.6
R9000
ブラケットカバー
12°：60サイズ
(9°)：48、51、54サイズ
ブラケットカバー：150.5
ブラケットカバー：160.2
1804 (2304)：60サイズ
1800 (2300)：48、51、54サイズ
ブラケット：125
柱：142.8



※本図は、60サイズを示し48サイズは [ ] に、51サイズは [[ ]] に、54サイズは [[[ ]]] に示します。
※本図は、標準H18柱を示し（ ）にロング柱H23を示します。

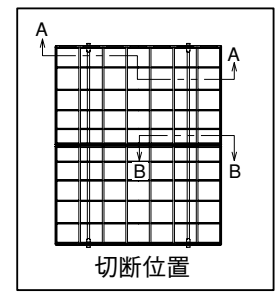
●横断面図

5000＜5706＞
29
706×7＝4942＜706×8＝5648＞
29
25
10
後枠コーナーキャップ
2.3
アーチカバー：4.2
10
屋根パネル
10
側枠
側枠カバー
10
71（側枠）
パネル：2
2.3
36
50
アーチ：4
50
36
108.6
はり
ブラケット
A—A断面図
ブラケット：50
68.3
971＜1174＞
3000＜3300＞
971＜1174＞

後枠側

29
706×7＝4942＜706×8＝5648＞
ワイド棟木キャップ
ワイド棟木取付け金具
B—B断面図

ワイド棟木側



※本図は、50タイプを示し、57タイプは＜ ＞に示します。

梱包明細書

■梱包明細書

●柱セット

名　　称	員数
柱	2
柱化粧材1木目調	2
柱化粧材2木目調	4
取扱い説明書	1

●はりセット

名　　称	員　数	
	1本入	2本入
はり	1	2

●長さセット

名　　称	員　数			
	48～54用	60用	1448~54用	1460用
後枠	1	1	1	1
母屋	3	4	3	4
縦どい	1	1	–	–

●幅セット

名　　称	員　数				
	50用	57用	連棟50用	連棟57用	連棟14用
側枠	左右各1	左右各1	–	–	–
側枠カバー	2	2	–	–	–
アーチ	6	7	7	8	2
アーチカバー	6	7	7	8	2

●ワイド用棟木セット

名　　称	員数
ワイド棟木	1

●ブラケットセット

名　　称	員　数	
	2本入	4本入
ブラケット	2	4

●組立て部品セット

名　　称	員　数		
	50用	57用	14用
ワイド棟木取付け金具	4	4	2
ワイド棟木キャップ	2	2	–
後枠コーナーキャップ	左右各2	左右各2	–
ブラケットカバー	左右各4	左右各4	左右各2
ブラケットカバー化粧材	4	4	2
柱化粧材キャップ	4	4	2
雨どいアタッチメント	2	2	2
穴ふさぎキャップ	2	2	2
アタッチメントパッキン	4	4	4
ドレンエルボφ40用	2	2	2
92° エルボφ40用	4	4	4
雨どいでんでん	6	6	6
接着剤	2	2	2
アンカー棒（φ8×200）	4	4	2
ブチルコーキング（100g）	2	2	1
穴隠しシール（φ15）	43（52）	43（52）	21（26）
六角ボルト（Wセムス）M8×25	24	24	12
トラスタッピンねじ（3種）φ5×14	8	8	4
ナベテクスねじφ4×13	94（112）	105（124）	28（32）
ワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）φ4×10（D=10）	252（340）	276（374）	83（109）
ナベテクスねじφ4×25	13	13	6
皿タッピンねじ（3種）φ4×20	8	8	4
皿タッピンねじ（2種）φ5×60	4	4	2
皿タッピンねじ（2種）φ5×20	4	4	2
取付け説明書	1	1	–

※（　）は60用を示します。

●屋根パネルセット

名　　称	員　　数		
	1枚入	3枚入	4枚入
パネル	1	3	4

●連棟部材セット

名　　称	員　　数	
	48～54用	60用
棟木スリーブ	1	1
後枠スリーブ	2	2
母屋スリーブ	6	8
ナベテスクねじφ4×13	82	98
ワイド棟木止水パッキン	1	1

MEMO

MEMO

MAK-251A
ZJ79
2006年10月1日発行

トステム株式会社
本社　〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので了承ください。